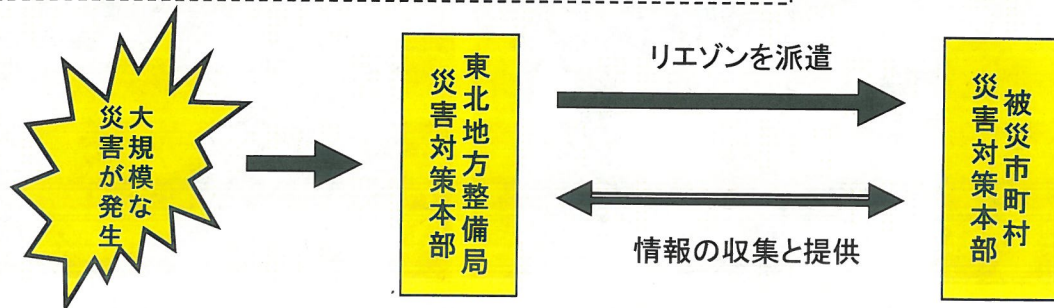


東日本大震災におけるリエゾン（災害対策現地情報連絡員）支援活動

※リエゾン（Liaison、「つなぐ」という意味のフランス語）



〔東日本大震災における支援活動〕

- 東日本大震災では、地方公共団体への支援活動を円滑に実施するため、青森県庁、岩手県庁、宮城県庁、福島県庁、31市町村の災害対策本部等に対して「リエゾン」を派遣しました。
（ピーク時96人、発災直後から6/30まで延べ3,916人・日）
- 自治体ニーズを的確に把握し、リエゾン自ら関係機関との現地調整等を実施するなど、各自治体への支援を円滑に実施することができました。



山田町での活動状況
（タンク撤去の現地調整）



東松島市での活動状況
（支援物資の取り次ぎ）

→ 次ページへ続く

[東日本大震災における支援活動]



災害対策本部における情報収集
(気仙沼市)



南三陸町での活動状況
(排水ポンプ車の現地調整)



津波により流出した気仙大橋
(ヘリによる調査結果を情報提供)



TEC-FORCEの活動状況
(被災状況を共有)